

2015
AMPELMANN Duett Berlin Concert
in TOKYO



Violine_Yume Saito Kontrabas_Toru Takahashi

2015 アンペルマン・デュエット コンサート 2015 in 東京
10月3日 (土曜日) 10:30 開演

2015
AMPELMANN Duett Berlin Concert
 in TOKYO



【ごあいさつ】

2011年秋に始まったこのシリーズ、島根県津和野町と東京のサントリーホール・ブルーローズでベルリンドイツ交響楽団の仲間たちとオクテット（八重奏）、2012年は弦楽クインテットを津和野町と東京で2013年は春に東京、秋に津和野町でアンペルマンデュエット、そして弦楽カルテットを福島伊達保原と東京で行いました。

2014年は春に今日と同じムジカーザでアンペルマンデュエットを行い、秋には東京と伊達保原でヴァイオリン、コントラバス、クラリネット、ファゴット、ホルンのクインテットを、この編成のために書かれた代表作「もう一人のティル」に加え作曲家高橋幸代の初演「光の降る夜に」そして編曲によるワグナーの「タンホイザー序曲」「カヴァレリア・ルスティカーナ間奏曲」などを演奏しました。

アンペルマン・デュエットはヴァイオリンとコントラバスという弦楽器の最高と最低音域を担う楽器のデュエットです。僕らコントラバス奏者は大編成のオーケストラでも室内オケでも、また室内楽でもメロディを奏でる楽器にピッタリ寄り添い、ときには低音からリードして支えるのが、その役目のメインです。メロディを奏でるのはオーケストラでもその中心のファーストヴァイオリンが多い、そのヴァイオリンといつも一緒に音楽してるのは僕らコントラバス奏者には日常のことです。最高音と最低音、その二声だけの二重奏は、シンプルすぎるかもしれませんが、クリアになる面も多い筈と思ってました。

ヴァイオリニストの佐藤優芽さんとは2009年の夏に東京芸大オケのベルリン公演で知り合い2012年からの彼女のベルリン留学で再会しました。アンペルマン弦楽五重奏2012 in 津和野&東京、優芽さんにはファーストヴァイオリンを担当してもらい、5回のコンサートは大成功に終わりました。

ヴァイオリンとコントラバスのデュエットは私が昔から考えていた組み合わせなんですが彼女と出会って、その実現方法を具体的に考える様になりました。2013年のサロン・テッセラでの2回の東京コンサート、そして昨年の春の東京、秋の津和野公演も御蔭様で満席でした。

ヴィヴァルディとコレルリのイタリアンバロックソナタ、そしてフレンチバロックのモンドンヴィツレ、ヴァイオリンソナタ10曲余をデュエットに編曲しました。今回はコレルリの3作品を聴いていただきます。

作品がほとんどないヴァイオリンとコントラバスのデュエットですので作曲してもらいました。高橋幸代作曲、彼女のベルリンでの思い出がこもった「白を映す碧-ヴァイオリンとコントラバスのために-」そしてアンペルマンの故郷ベルリン中央区と鷗外森林太郎のご縁で姉妹都市の島根県津和野にちなんだElise-「舞姫より」-

また、新しい試みとしてアルゼンチンのピアソラ作品から3曲もプログラムに入れました！

弦楽器の最高音と最低音の二重奏、どうぞお楽しみください！

高橋 徹



【Programm プログラム】

Arcangelo Corelli Duetto Op.5 から3曲

高橋幸代 白を映す碧-ヴァイオリンとコントラバスのために-
 Elis-「舞姫より」-

Astor Piazzolla
 J' attends La Misma Pena Saint Louis en L' ile



※コンサートは代々木上原 ムジカーザにて行います

10/3日（土曜日）10:30 開演

Price:4000円 大学生以下2000円

◎今回はヴァイオリンとコントラバスの二重奏コンサートです。

※コンサート事務局 info_concert@another-b.com

にメールにてご予約いただき、
 当日にお渡しするプログラムをチケット代わりとさせていただきます。
 チケット代も当日、ムジカーザ受付でお支払いください。

